

国産材の可能性を生み出すクリエイティブプロジェクト 「WOOD CHANGE CHALLENGE」

100を超える応募作品から受賞6作品を発表！

「受賞作品は、想像力が掻き立てられるもの、身近な体験をアイデアにした共感性のあるもの」（建築家・永山祐子）

「“未来的・WEB的”な発想を感じ、面白かった」（アートディレクター／プランナー・佐藤ねじ）

「WOOD CHANGE AWARD」受賞作品と、異分野クリエイターチームで制作した作品を
3月5日（金）より代官山 蔦屋書店にて披露！

令和2年度補正予算林野庁補助事業

株式会社ロフトワークは、一般社団法人 全国木材組合連合会の後援・林野庁補助事業の支援の元、国産材の需要創出・利用拡大を支援するプロジェクト「WOOD CHANGE CHALLENGE（ウッド チェンジ チャレンジ）」を立ち上げ、2020年11月から“国産材を活用するアイデアアワード”・“異分野のクリエイターが集結したプロトタイプング・イベント”を中心に各施策を実施しました。

国内外より未発表の作品やプロトタイプ、コンセプトスケッチやサービスまで幅広くアイデアを募集した「WOOD CHANGE AWARD」では、普段から木材を活用している職業の方だけではなく、グラフィックデザイナーや映像作家、アニメーターらのほか、学生、主婦など様々な方々から、100を超える応募作品が集まりました。

その中から受賞した6作品には、ゴールドに森林・林業への関心を高め『こんな森があったらいいよね』を共有・実現する場として、現役の林業従事者が開催する「もりのがっこう（仮）」を創出するアイデアが受賞。シルバーには木材の吸湿性を利用して開閉するファサードシステム、ブロンズには自分で育てた苗が製品になって戻ってくる「戻り苗」のアイデアが受賞し、その他ピックアップ賞3作品が選出され、新たな国産材活用の可能性が広がりました。

また異分野のクリエイターたちが集結し、新しい国産材の活用を試みたクリエイティブセッション「WOOD CHANGE CAMP」ではオンラインでの活動を中心に3チームに分かれて、アイデアのプロトタイプ制作を行いました。

そしてこの度、3月5日（金）から18日（木）の14日間、東京・代官山 蔦屋書店にて「WOOD CHANGE AWARD」の受賞作品や「WOOD CHANGE CAMP」作品を展示します。（一部作品はタブレット端末やパネルで展示）さらに、5日（金）にオンラインで開催する授賞式では、「WOOD CHANGE CAMP」のプレゼン大会も実施し、3チームの中から一般投票でBEST CAMP賞を決定します。国産材の魅力と可能性を体感し、木と人の新たな物語が始まる同イベントにご注目ください。

【林野庁 木材利用課長 コメント】

カーボンニュートラルやSDGsという持続可能な未来に向けた社会課題の解決に、日本の森や木が大きく貢献できると考えています。「WOOD CHANGE CHALLENGE」では、作品応募、キャンプやイベントに多くのクリエイターにご参加いただきました。応募作品は、いずれも、木材の魅力や可能性を強く感じられるものでした。クリエイターの皆さんに生み出されたアイデアを通じて、多くの方々の日本の森や木への関心が高まり、ひとりひとりの「ウッド・チェンジ」のアクションにつながることを期待します。

<授賞式／展示会概要>

WOOD CHANGE AWARD / WOOD CHANGE CAMP作品の授賞式・展示会

2021年3月5日（金）に「WOOD CHANGE AWARD」、「WOOD CHANGE CAMP」に関する授賞式をオンラインにて、展示会を代官山 蔦屋書店 2号館1F建築・デザインフロアにて実施予定です。

▼授賞式&トークイベント（オンライン）

受賞作品の表彰、審査員によるクロストーク（講評）、CAMP参加クリエイターチームによるピッチ（一般投票受付でのBEST CAMP賞選出）を実施予定。

【開催日時】2021年3月5日（金）18：00～20：00

【配信URL】※事前参加申し込み必要

<https://fabcafe.com/jp/events/tokyo/wood-change-challenge-award-ceremony/>

▼展示会

代官山 蔦屋書店にて、建築デザイン担当のコンシェルジュがアレンジしたディスプレイで受賞作品の展示を実施。

木に関する書籍や国産材を使った雑貨の展示販売なども行います。

【開催期間】2021年3月5日（金）～3月18日（木）

* 一部作品はタブレット端末／パネルで展示



「WOOD CHANGE AWARD」

国内外より未発表の作品やプロトタイプ、コンセプトスケッチやサービスまで幅広くアイデアを募集するクリエイティブアワード。国産材にクリエイティブをかけあわせ、「もしかしてこんなに変わるかも（Would change）」という自由奔放なアプローチを集めました。国産材に無関心な人々、そのひとりひとりの小さなまなざしや意識に変化を起こし、大きな課題解決へ。そんな木と人との物語がはじまる、「Would Change」なアイデアを2020年11月18日（水）から2021年2月15日（月）まで募集。国内に加え、タイや中国など海外からの応募も含め103作品が集まりました。

2月24日（水）には、建築家やアートディレクターなどにより構成された審査員4名による厳正な審査が行われ、ゴールド、シルバー、ブロンズ、ピックアップ賞を決定。3月5日（金）から代官山 鳥屋書店で開催する展示会にてタブレット端末やパネルを通して受賞作品をご覧いただけます。

▼「WOOD CHANGE AWARD」受賞作品



ゴールド

【作品名】「もりのがっこう(仮)」
【お名前】足立成亮、陣内雄、神輝哉、金内智美、木野哲也、SHIN sasaki、野中穂
(林業従事者、NPO法人理事、福祉事業・観光、北欧雑貨店主、文化芸術事業プロデューサー、デザイナー、カメラマンで構成)

<作品概要>

森林・林業現場への興味関心を高めることを目的に『こんな森があったらいいよね』を共有・実現する場として、現役の林業従事者がひら「もりのがっこう(仮)」を創立するアイデア。環境保全型林業の現場として稼働している札幌市内山林から、北海道各地へ展開することを想定。

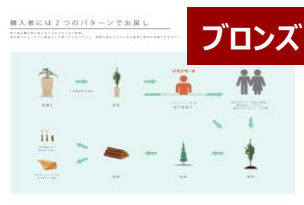


シルバー

【作品名】「Hygrosensitive Shape-Shifting Facade」
【お名前】Zhenfang Chen（研究者）

<作品概要>

木材の吸湿性を利用して、相対湿度の変化に応じて、晴天時には閉じ、雨天時には開く、気象に敏感な、可動ファサード。実際に実験や、試作でのテストも実施した上で提案している。



ブロンズ

【作品名】「戻り苗」
【お名前】奥川季花、西来路
(協力:株式会社中川、樹木医:大谷栄徳)
(編集者、グラフィックデザイナーで構成)

<作品概要>

林業で使用されるスギ、ヒノキ、ウバメガシの苗を家庭で育て、山に植えてもらい、同じ山で育った木が製品となって、手元に戻ってくるというサービス。木材製品への愛着と、日本の森林に対する関心を高め、林業界の課題の一つである日本木材の国内消費増加につなげる考え。



#MATERIALITY賞

【作品名】「木雲」
【お名前】齋藤拓海（大学院生）



#ACTIVITY賞

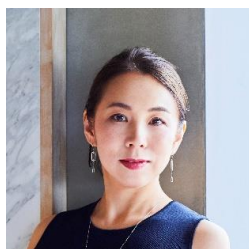
【作品名】「ICE TREEM」
【お名前】田嶋千寛（大学生）



#STORYTELLING賞

【作品名】「触れると思わず前に進みたくなる、音を奏でる木の手すり」
【お名前】MATHRAX〔久世祥三+坂本茉里子〕
(アートユニット)

【AWARD審査員コメント】



永山祐子

建築家

1975年東京生まれ。1998年昭和女子大学生生活美学科卒業。1998-2002年青木淳建築計画事務所勤務。2002年永山祐子建築設計設立。
<http://www.yukonagayama.co.jp/>

ポートレートクレジット：木内和実

本プロジェクトでは、「プロが見て凄いもの」よりも、一般の方にも想像、共感してもらえるアイデアが求められていたと思います。応募作品は様々な分野から多様なアイデア・プロダクトが集まりました。その中でも受賞作品は、そのアイデアを見た人が新たな可能性を語り始めるくらい想像力が掻き立てられる、「未来への種」を感じるもの、そして身近な体験をアイデアにした共感性のあるものを選びさせていただきました。



佐藤ねじ

アートディレクター／プランナー

1982年生まれ。小さくてもいいから新しい発見「0→0.1」を多く見つけていくことを目標に株式会社ブルーバードを設立。主な受賞歴に、文化庁メディア芸術祭、Yahoo Creative Award グランプリ、グッドデザイン賞BEST100、TDC賞など。



秋吉浩気

建築家 /メタアーキテクト
/VUILD株式会社代表取締役CEO

2017年にVUILDを創業し、「建築の民主化」を目指す。主な受賞歴にSDレビュー(2019年)、U-35 Gold Medal賞(2019年)、グッドデザイン金賞(2020年)。

人と木の関係を再構築するためには、これまでの常識を疑い行動することが大切であると、審査を通じて学びました。現場である山を人々の居場所として再定義するだけでなく、林業従事者という職能を創造者へと再定義しているゴールドを筆頭に、様々な勇氣ある挑戦に出会うことができました。とりわけ、学生達が山や流通に踏み込んで提案していた点が印象深く、このような時代の変化の追い風として各賞が貢献できればと願っています。



若杉浩一

武蔵野美術大学 造形構想学部 クリエイティブイノベーション学科 教授

九州芸術工科大学芸術工学部工業設計学科卒プロダクト、インテリア、建築、ソーシャルデザイン2002年より日本全国スギダラケ倶楽部を立ち上げ、地域とデザインの可能性を模索してる。

林業が抱える課題を家庭菜園で解決に導くアイデアなどに、「未来的」「WEB的」な発想を感じ、面白かったです。サービスを通して問題提起の意識が続いていくアイデアに、沢山のキャッチコピーが生まれる気配を感じています。審査を通して感じたのは、「よいものを作るひと」と「それを伝えるひと」の両方の存在が大切だということ。一つの批評が、その価値を伝えることに機能すると感じました。

予想だにしないもの、「その手があったか！」と感じるものなど、多様なアイデア溢れていて興味深かったですね。また、そこに第三者のアイデアが加わると、一気にリアリティが加速して、実装などの次のステップに行くこともイメージでき、審査を通して将来性を語る意味でも面白かったです。イノベーターとして山に関わる人が増えていけば、人々はより山に興味を持ち、山に戻っていく未来も見えた気がします。

「WOOD CHANGE CAMP」

異分野のクリエイターたちが集結し、新しい国産材の活用を試みたプロトタイピング・イベント「WOOD CHANGE CAMP」。木工の経験や実績は問わず、「木に何らかの可能性やモチベーションを感じている」ことだけを条件に選考を突破した「公募クリエイター」、『広告』編集長の小野直紀氏、建築家の元木大輔氏がプロジェクトのテーマに沿ってアイデアを形にできるよう導く「メンター」、そして木の扱いや加工に詳しい「木のディレクター」でスペシャルチームを結成。1月上旬に渋谷FabCafeで活動をスタートさせ、その後はオンラインでの活動を中心にアイデアのプロトタイプを制作。約40日間をかけて、アイデアのアウトプットに磨きをかけた3チームは、3月5日(金)にオンラインにて実施される「WOOD CHANGE AWARD」授賞式内で「WOOD CHANGE CAMP」のプレゼン大会を実施予定。一般投票を行い、BEST CAMP賞を決定します。

▼「WOOD CHANGE CAMP」作品



【作品名】「Forest crayon (仮)」
【チーム名】Playfool
(デザインエンジニア2名にて構成)

<コメント>

「Forest crayon」は、家具や建材の規格から外れた木材を用いたクレヨンです。材種によってや、日焼けや菌類の影響により、木の色は決して「茶色」ではなく、多様であることに気づきます。



【作品名】「chopping」
【チーム名】MULTISTANDARD
(デザイナー4名にて構成)

<コメント>

人工的な製材が作り出す数学的な知恵と、かつての生活の風景である薪割りの原始的な知恵を掛け合わせてできた家具です。どちらにも転ばないその佇まいに、私たちは未来のスタンダードの多様性を感じています。



【作品名】「ForestBank」
【チーム名】狩野佑真 (デザイナー)

<コメント>

ForestBankというマテリアルは本来の木材と同様、切り出す箇所によって現れる模様が分からないということに面白さと可能性を感じます。今後様々な用途に利用されることを期待します。

<各プログラムの応募要項>

WOOD CHANGE AWARD

【募集テーマ】

- 「木へのまなざしを変えるアイデア」
①木の特性の活かし方をチェンジ
②木と人との関係をチェンジ
③木を使うことへのイメージをチェンジ



【募集対象】

国産材の利用拡大や新たな利用につながる、コミュニケーション／プロダクト／サービスや仕組みに関するアイデア
※カテゴリーは不問。カタチのない活動、プロジェクト、パフォーマンスもOK
※2021年2月末時点で製品化されているアイデアは募集の対象外

【募集期間】

2020年11月18日(水)～2021年2月15日(月)

【賞】

ゴールド、シルバー、ブロンズ 各1アイデア
ピックアップ賞(#MATERIALITY賞 #ACTIVITY賞 #STORYTELLING賞)

【備考】

応募費用は無料で、応募点数も制限無し。
応募方法や参加資格などの詳細は、以下URLご参照ください。
URL : <https://awrd.com/award/woodchangeaward>

WOOD CHANGE CAMP

【募集対象】

国産材の利用を
大胆にチェンジするクリエイター

【応募資格】

国内居住の個人またはグループ
※国籍不問
※グループの場合は最大4名まで



【募集期間】

2020年11月18日(水)～12月15日(火)

【賞】

2021年3月5日(金)の授賞式にてプレゼンテーションを実施
一般投票によりBEST CAMP賞を選定

【CAMP一般投票詳細】

チームの作品ページのLikeボタンをクリックするだけで投票可能
(ログイン不要) 3月5日(金) 授賞式イベントプレゼンテーション終了後、19時まで投票受付
一般投票URL : <https://awrd.com/award/woodchangecamp/works>

【備考】

選出者は、渋谷FabCafeで活動をスタートさせオンラインでの活動をメインに、プロトタイプ制作を行いました。(40万円までのプロトタイプ制作費を支援)

本件に関するお問い合わせ先

WCC PR事務局(株式会社サニーサイドアップ内) 担当: 宇野/坂間/照井
宇野携帯: 080-4904-3022 / 坂間携帯: 080-4794-0676 / MAIL: wcc@ssu.co.jp

【オフィシャルデータ格納先は、[コチラ](#)から】